

元気戦略見直しの方向性

第4次元気戦略策定の平成30年以降、感染症の影響等によるデジタル化の進行、カーボンニュートラルの実現に向けた動きや、新しい働き方の普及など、中小企業を取り巻く環境が大きく変化していることから、地域経済を支える中小企業が社会経済環境の変化に対応し、持続可能な成長を可能とする視点を取り入れ、第5次戦略を策定する。

第5次元気戦略骨子(案)イメージ

【現状と課題（中小企業・小規模企業を取り巻く環境）】 一部新規

(1) 感染症の影響と社会経済環境の変化 (2) 人口減少・市場の縮小
 (3) デジタル化の進展 (4) カーボンニュートラルやSDGsの社会的要請の高まり
 (5) 災害等リスクの増大 (6) グローバル社会 (7) 新しい働き方
 (8) 労働市場の変化 (9) 広域交通網の充実

【目指すべき姿】
 地域経済を支える中小企業の持続可能性を高めるとともに、社会経済環境の変化に対応し、千層らしい力強い成長を実現

【施策の方向】

- 1 成長の後押し
- 2 経営基盤の強化
- 3 人材の確保・育成・定着
- 4 地域活性化



【施策横断の視点】 新規

- I デジタル技術の活用
- II SDGsの推進
- III グローバルな動きへの対応
- IV 多様な働き方の推進



【施策展開】 一部新規・拡充

- 1 成長の後押し
 - ・意欲的な取組の促進（起業・創業、ベンチャー、成長産業（バイオ・食品など）、事業再構築、販路開拓、デジタル化）
 - ・産学官連携・企業間連携の促進（交流機会、オープンイノベーション）
 - ・研究開発力の強化（技術支援、共同研究、知的財産）
- 2 経営基盤の強化
 - ・多様な経営課題への対応（支援機関等による伴走支援、資金繰り、事業承継）
 - ・SDGsの取組の促進（カーボンニュートラル（再エネ・省エネ）、SDGs経営）
 - ・リスクマネジメントに係る支援（BCP）
- 3 人材の確保・育成・定着 **本日の議題**
 - ・多様な人材の確保と育成（女性、高齢者、障害者、デジタル人材、リスクリング）
 - ・多様な働き方を実現する環境整備（ワーク・ライフ・バランス、テレワーク、兼業・副業）
- 4 地域活性化
 - ・地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化（商店街、地域資源）
 - ・地域の特色を活かした地域活性化（企業誘致、ワーケーション、移住定住、観光振興）

【戦略を推進するにあたっての方策】

・支援体制の充実 ・官公需の推進 ・情報発信の強化 ・戦略の進行管理